

問1 東北地方の各県の場所について説明した次の記述のうち、宮城県の県庁所在地であり、東北地方最大の人口を抱える仙台市が位置する場所として最も適切なものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

1. 東北地方の最北部に位置し、青函トンネルを通じて北海道と結ばれている地点
2. 東北地方の南西部に位置し、最上川の下流域に広がる庄内平野を持つ地点
3. 東北地方の中央東側の太平洋側に位置し、広瀬川が流れる仙台平野に面した地点
4. 東北地方の最南部に位置し、関東地方と隣接している地点

問2 福島県の安積原野において、明治時代に大規模な国営事業として安積疏水が完成したことにより、それまでの広大な荒地は主にどのような土地利用へと変化しましたか。最も適切なものを選びなさい。 (2023年 静岡公立入試 類似)

1. 稲作を行うための水田
2. 桃や梨を栽培するための果樹園
3. 建築資材を確保するための針葉樹林
4. 都市化に伴う大規模な住宅団地

問3 東北地方における緯線の位置関係を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)

1. 青森県と岩手県の境界付近を北緯40度線が通り、宮城県と福島県の境界付近を北緯38度線が通る。
2. 青森県と岩手県の境界付近を北緯38度線が通り、宮城県と福島県の境界付近を北緯40度線が通る。
3. 東北地方の最北端付近を北緯35度線が通り、最南端付近を北緯30度線が通る。
4. 東北地方の中央部を北緯45度線が通り、これが北海道との境界になっている。

問4 東北地方の伝統的工芸品について、岩手県の盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などの鍛造技術を特徴とする伝統的工芸品の名称を答えなさい。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

1. 南部鉄器
2. 会津塗
3. 西陣織
4. 輪島塗

問5 東北地方の太平洋側から吹く冷たい風「やませ」が、中央に位置する奥羽山脈に遮られることで発生し、夏の気温が上がらずに米の不作などの深刻な被害をもたらす現象を何といいますか。 (2020年 北海道公立入試 類似)

1. 冷害
2. からっ風
3. フェーン現象
4. 干害

問6 宮城県の沿岸部ではカキの生産が非常に盛んであり、全国の生産量の約六割を占めるという統計もあります。この地域において、カキの養殖がこれほどまでに発達した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井公立入試 類似)

1. 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。
2. 広大な大陸棚が広がっており、寒流と暖流がぶつかる潮目(潮境)が近いため、網を使って一度に大量の貝を捕獲できるため。
3. 稚貝を人工的に孵化させたあとに一度外洋へ放流し、成長して再び戻ってきた個体を効率よく捕獲する仕組みが確立されているため。
4. リアス海岸の急峻な崖によって日照時間が制限されることが、カキの身を大きく太らせるために必要な環境条件と一致しているため。

問7 岩手県の太平洋沿岸に位置する三陸海岸周辺では、夏にオホーツク海高気圧から吹き込む「冷たく湿った北東風」の影響を受け、気温が上がりにくい年があります。この風の名称と、それによって引き起こされる現象の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2025年 山口公立入試 類似)

1. やませによる冷夏の発生
2. 季節風による豪雪の発生
3. フェーン現象による猛暑の発生
4. 貿易風による干ばつの発生

問8 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った気流が流れ込むことがあります。この影響で、7月や8月の平均気温が平年より大幅に低くなり、農作物の生育が妨げられる「冷害」が発生する原因となる風の名称を答えなさい。 (2018年 徳島公立入試 類似)

1. やませ
2. からっ風
3. フェーン現象
4. 季節風

問9 本州の最北端に位置する青森県と、北海道との間を隔てている海峡は、日本海と太平洋を結ぶ重要な水域となっています。この海峡の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 津軽海峡
2. 宗谷海峡
3. 対馬海峡
4. 関門海峡

答え合わせ・解説

問1	答え 3 東北地方の中央東側の太平洋側に位置し、広瀬川が流れる仙台平野に面した地点	仙台市は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で唯一の政令指定都市です。地形的には、東北地方の太平洋側の中央部に広がる仙台平野に位置しています。これに対し、最北部は青森県、南西部（日本海側）は山形県、最南部は福島県の説明です。
問2	答え 1 稲作を行うための水田	安積原野はもともと水利が悪く、農業に適さない荒地が広がっていました。明治政府による安積疏水の整備によって、猪苗代湖から灌漑用水を引くことが可能になり、この水を利用して大規模な水田開発が行われました。これにより、この地域は日本有数の米どころへと発展することとなりました。
問3	答え 1 青森県と岩手県の境界付近を北緯40度線が通り、宮城県と福島県の境界付近を北緯38度線が通る。	緯度は北へ行くほど数値が大きくなるため、東北地方の北側に位置する青森県・岩手県側が北緯40度、南側に位置する宮城県・福島県側が北緯38度となります。この緯度の違いは日照時間や気温の差、ひいては作物の生育状況や冷害の影響の受けやすさといった地理的課題にもつながる重要な情報です。
問4	答え 1 南部鉄器	岩手県の盛岡市や奥州市で生産されている南部鉄器は、江戸時代に茶の湯の流行とともに発展した鋳物（いもの）の技術を用いた工芸品です。経済産業大臣によって「伝統的工芸品」に指定されており、現代でも実用性の高い鉄瓶や調理器具などが作られています。会津塗は福島県、輪島塗は石川県、西陣織は京都府の伝統的工芸品です。
問5	答え 1 冷害	オホーツク海から届く冷たい風によって、夏になっても農作物の成長に必要な気温まで上がらない状態を指します。特に奥羽山脈よりも東側の地域では、この風の影響で厚い雲が発生しやすく、日照不足と低温が重なることで稲などの生育に大きな打撃を与えます。
問6	答え 1 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。	リアス海岸の入り組んだ地形は、養殖に必要ないかだを安定して浮かべるための静かな水面を提供します。また、背後に迫る山々から川を通じて森の栄養分が海へ流れ込み、カキの餌となるプランクトンが大量に発生することも、全国有数の生産量を誇る重要な要因です。潮目での漁獲は沖合漁業の特徴であり、一度放流してから捕る方法は「栽培漁業」の説明です。
問7	答え 1 やませによる冷夏の発生	三陸海岸をはじめとする東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹くことがあります。この風が吹くと、本来気温が上がるはずの夏季に気温が低く抑えられる「冷夏」となり、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生する原因となります。
問8	答え 1 やませ	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる北東の風が吹き込むことがあります。この風は冷たく湿っているため、発生すると平均気温が上がらずに稲の生育が妨げられ、農作物が深刻な被害を受ける冷害を引き起こします。これに対し、「からっ風」は冬に山を越えて吹く乾燥した風のことです。
問9	答え 1 津軽海峡	青森県と北海道の間に位置し、日本海側と太平洋側の海域を繋ぐ役割を果たしています。北海道と本州を隔てる境界であるとともに、その地下には両地域を鉄道で結ぶ青函トンネルが建設されており、日本の交通網における重要な拠点となっています。